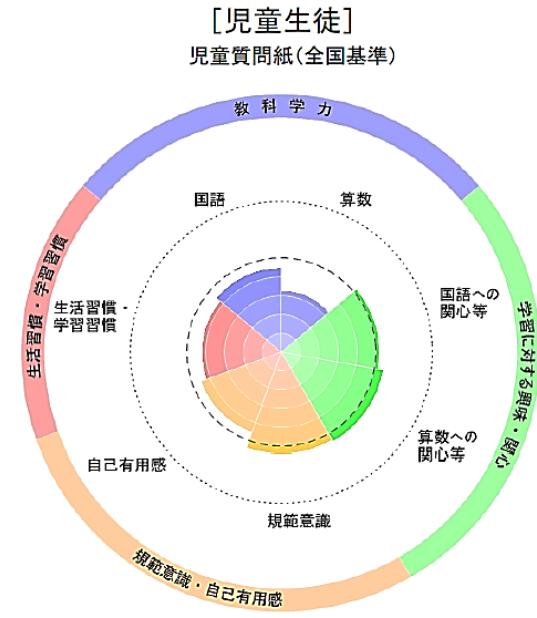


『令和3年度 全国学力・学習状況調査』について

令和3年11月26日
 摂津市立味生小学校
 校長 大崎 貴子

6年生を対象に5月27日(木)に行われました「全国学力・学習状況調査の結果と今後の学校での取組みと保護者の皆様へのお願いについてお知らせいたします。

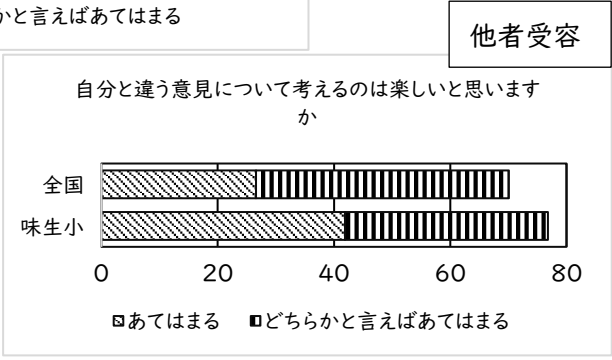
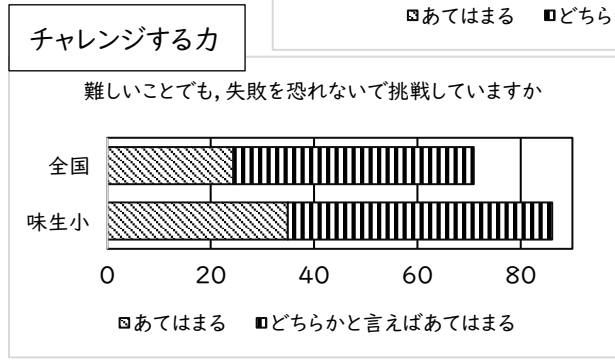
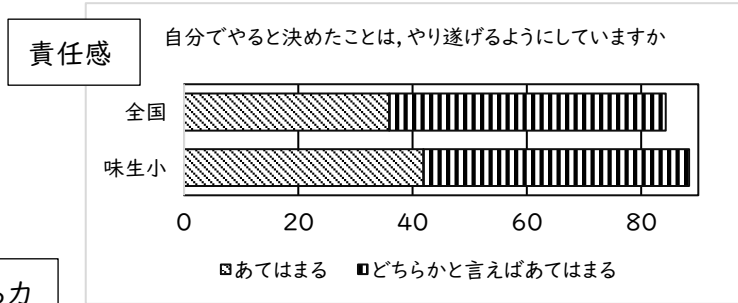
全国学力・学習状況調査の結果 【児童質問紙】



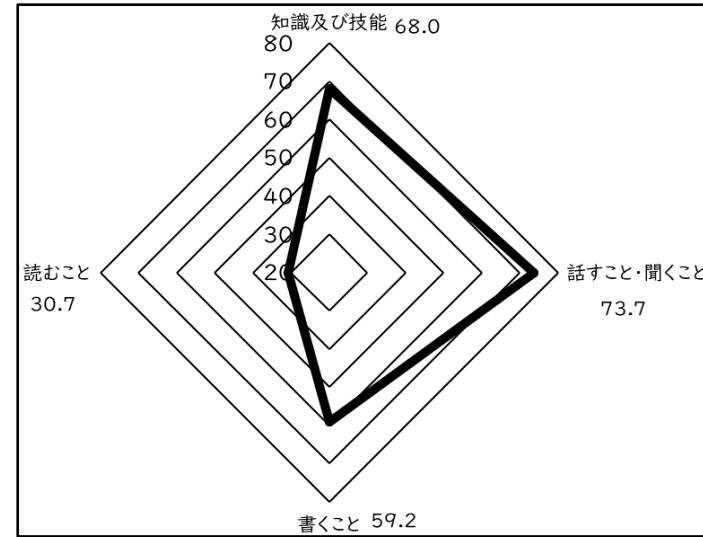
「学習に対する興味・関心」は全国平均を上回りました。また、「規範意識(ルールを守る心)」においても全国平均を上回りました。

下の3つのグラフからもわかりますが、責任感、チャレンジする力、他者受容などについて、全国平均を上回りました。

一方で、「自己有用感(自分は役に立っていると感じているか)」、「生活習慣・学習習慣」、「教科学力」においては、国語科は4.7ポイント、算数科は14.2ポイント全国平均を下回っております。

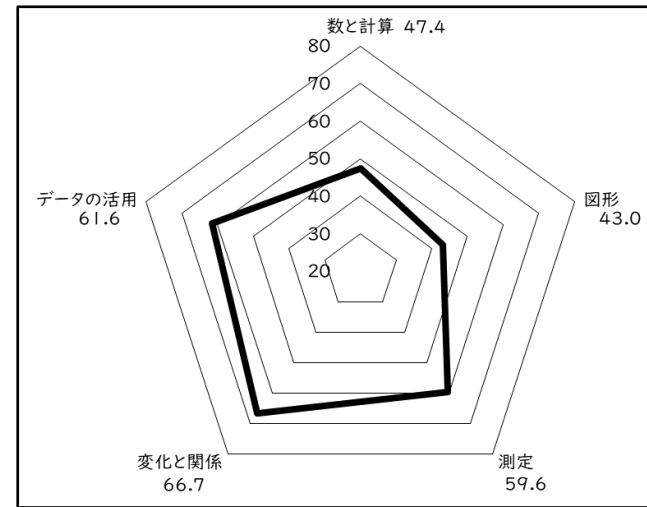


【国語科】



- ・「知識及び技能」(漢字や主語と述語に関する問題)は全国平均をやや上回る。
- ・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」(資料を用いる目的や資料を用いて放すこと)については全国平均とほぼ同値でした。
- ・「読むこと」については全国平均を下回りました。特に文章を要約する力に課題が見られました。

【算数科】



- ・問題の場面を理解する力が低い。(問題場面の想像と問題の意図の理解が難しい)
- ・量の感覚が乏しい。(図形【面積】)
- ・資料を読み取る力が低い。(グラフや表を見て理解する力が低い)
- ・既習事項の定着ができていない。(本調査では3年生の学習内容も含まれていましたが、正答率は高くありませんでした)
- ・伴って変わる量(速さと道のりと時間)の理解度が低い。(変化と関係)

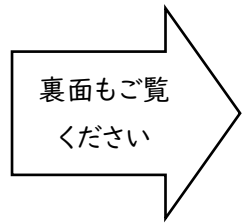
※ 国語科と算数科で資料に対する力に違いが見られました。国語科は資料そのものを考察する力、算数科は資料がより複雑になったり、資料をよりふかく活用したりする力が必要となっています。このことから、資料や情報を活用する力が弱いことがうかがえます。

学校の取組みと保護者の皆様へのお願い

この結果を真摯に受け止め、改善に向けた取組みを進めてまいります。

【学校での取組み】

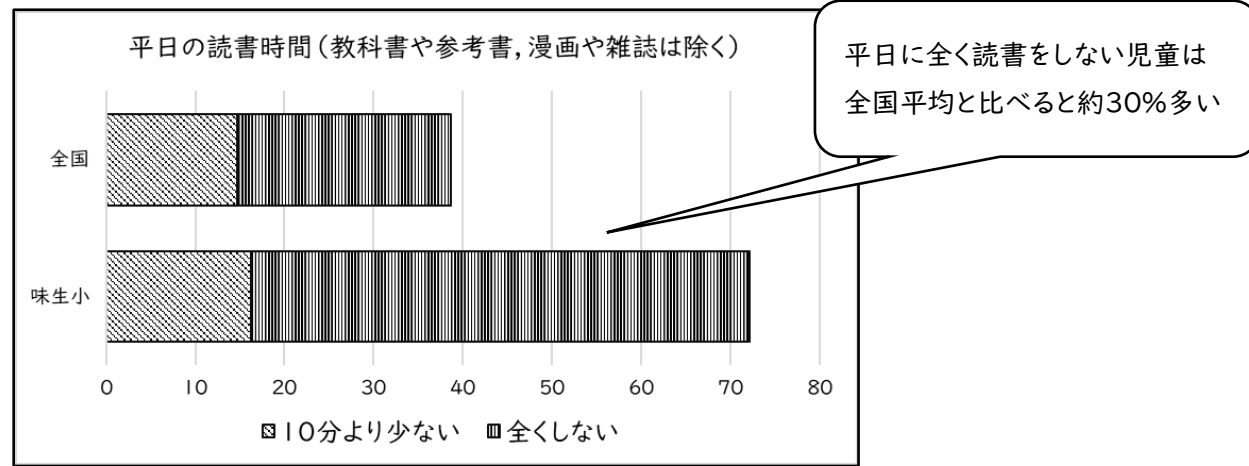
- 学校全体で、結果の分析を行い、各学年でつけたい力を明確にして、取組みを考える校内研修を実施。
- 国語科においては文章を読んで思ったこと、わかったことを発表、交流したり、「まとめる」「メモを取る」などの情報を整理したりする活動を取り入れる。



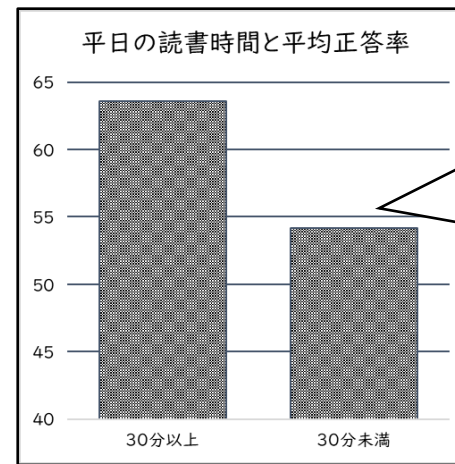
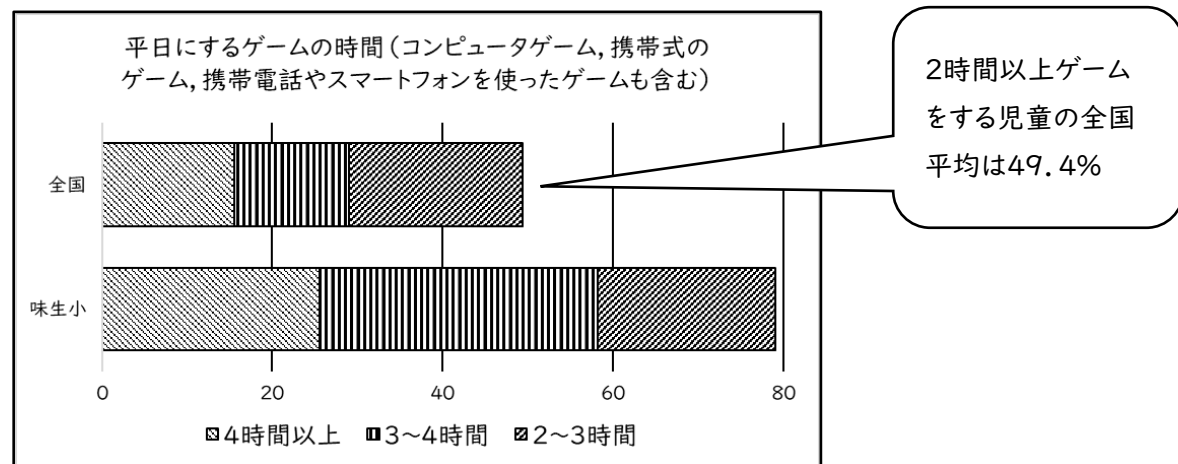
- 算数科においては、単元テストの後でその単元を活用する場面が少ないので、既習事項を活用できる機会（宿題や自主学習の課題設定の工夫など）を積極的に取り入れる。
- 国語科、算数科において、条件に合わせて文章を書いたり、説明をしたりする機会を設ける。
- 各教科の授業の中でも、「自分で考える時間」を大切に、課題と向き合う時間を取り入れる。

保護者の皆様へのお願い

国語科における課題「読むこと」、算数科における課題「問題場面の理解」、「資料の読み取り」からわかるように、味生小学校の児童は、「読む」ということが苦手な傾向が見られます。本や文、文字に親しむ習慣をつけ、学校と家庭の両輪で味生小学校の児童に力をつけていきたいと考えています。学校では、様々な文章を読み、読みを深める学習活動に取り組んでいきます。そこで、児童にとって身近な図書室づくりや様々な種類の本への興味付けにつながるきっかけづくりや図書室で借りてきた本を読み切ることから始めてまいります。ご家庭でも、児童が様々な文章に出会えるお手伝いをお願いしたいと考えています。「借りてきた本は読んだの?」とお声掛けいただきますようお願いいたします。

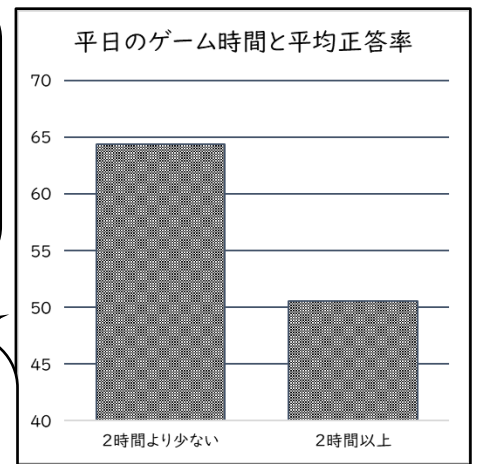


また、以下のグラフは平日（1日当たり）にするゲームの時間を調査した結果です。平日に2時間以上ゲームをする児童の割合は約80%です。家庭学習充実のため、学校でも宿題等を見直してまいります。ご家庭でもお声がけいただくとともに、上記の読書にも取り組んでいただければと思います。



読書時間が30分を超える児童の方が10ポイント近く正答率が高い結果が出ています

ゲームの時間が2時間未満の児童の方が2時間以上ゲームをする児童より正答率が約15ポイント高い



【各家庭での取組み例】

幼いころからの読み聞かせによって、将来獲得する言葉が1000語以上違うそうです。保護者の方も楽しむことが大切です。



絵本の読み聞かせ

あなたはこのお話のだれが好き？



音読を聞いて、問いかける

親子で一緒に図書館へ行く



保護者の方が子どものときに好きだった本をお子さまといっしょに探しに行きませんか？



家族での本読みタイム

家族みんなで本を読む時間が週に10分でもあれば、素敵ですね。

その他、摂津市教育委員会から「家庭を学びの場に」というリーフレットが出されています。お子さまと相談して書きこむ欄もありますので、ぜひご活用してください。

